

## 農山漁村地域整備計画 事後評価調書

整備計画名	林業生産力増のための森林整備事業計画（第3期）	計画策定主体	徳島県				
整備計画年度	令和2年度～令和6年度（5年間）	対象市町村	徳島市 他20市町村				
<b>1. 交付対象事業の進捗状況【実施要領<sup>注1</sup>第5の2の（1）】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施については5年間で森林整備125ha、林道整備5,019mとなり、令和6年度末までに計画どおり整備が完了した。</li> </ul>							
<b>2. 事業効果の発現状況【実施要領第5の2の（2）】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>林業生産基盤の核となる林道の整備により、森林作業道も含め、計画的な路網整備が図られた。このことで、これまで手入れの行き届いていなかった森林における施業が促進された。また、機能回復整備事業（花粉発生源植え替え）を実施することで、計画的な再造林、花粉症への対策に寄与するなど、多面的機能の発揮につながった。</li> </ul>							
<b>3. 成果目標の目標値の実現状況【実施要領第5の2の（3）】</b>							
<b>【定量的指標】</b>		当初値(R1)	目標値(R6)	実績値(R6)	単位	達成評価	備考
1 県産材の生産量の増		45	60	34	万m3/年	未達成	
<b>4. 今後の方針【実施要領第5の2の（4）】</b>							
<p>定量的指標における目標「県産材の生産量の増」については、目標値には届かなかった。</p> <p>目標に届かなかった要因としては、コロナ禍の物流停滞から丸太販売価格の低迷が起きたことによる森林所有者の経営意欲の低下や、事業地の奥地化による生産性の悪化、資材価格高騰による高性能林業機械の導入難など、様々であるが、最も大きな要因と考えられるのは、森林整備事業を担う林業従事者の不足である。</p> <p>一方で、2つの大型製材工場の稼働により、今後は需要と木材価格の安定が図られる見込みであることから、新たな山元の事業者参入が期待でき、林業従事者の増加に繋がると考える。</p> <p>引き続き素材生産量の増に向けて、整備を進めることで、豊かな森林づくりを行う。</p> <p>今後も森林整備事業の実施、林業生産基盤（林道）の整備を推進することで、間伐等森林施業の促進、森林の有する多面的機能の発揮、徳島県森林・林業施策の推進を図る。</p>							

（注1）実施要領とは、「農山漁村地域整備交付金実施要領」のことを指す。